

令和7年度 第1回薬事委員会報告書 [オーダー開始は 6/2(月) です]

1) 中止品

無し

2) 採用品

商品名(メーカー)	組成	薬価	適応症	用法・用量	備考
アリケイス吸入液590mg インスメッド合同会社	1バイアル中 アミカシン硫酸塩をアミカ シンとして590mg(力価)	¥ 38,437.9	適応菌種:アミカシンに感性的マイコバク テリウム・アビウムコンプレックス(MAC) 適応症:マイコバクテリウム・アビウムコン プレックス(MAC)による肺非結核性抗酸 菌症	通常、成人にはアミカシンとして590mg(力価)を1日1回ネブ ライザを用いて吸入投与する。	肺MAC症(標準治療で効果不十分の場 合)に対する治療のため、採用を希望す る。
タグリッソ錠40mg アストラゼネカ株式会社	1錠中 オシメルチニブ 40mg (オシメルチニブメシル酸 塩として 47.7mg)	¥ 9,670.0	○EGFR遺伝子変異陽性の手術不能又は 再発非小細胞肺癌 ○EGFR遺伝子変異陽性の非小細胞肺 癌における術後補助療法	通常、成人にはオシメルチニブとして80mgを1日1回経口投与 する。ただし、術後補助療法の場合は、投与期間は36か月間ま でとする。なお、患者の状態により適宜減量する。	EGFR遺伝子変異陽性肺癌(エクソン19 欠損またはL858R変異陽性)に対する治 療において、ガイドラインで一次治療で 強く推奨されているため、採用を希望す る。
タグリッソ錠80mg アストラゼネカ株式会社	1錠中 オシメルチニブ 80mg (オシメルチニブメシル酸 塩として 95.4mg)	¥ 18,540.2			
ハルロピテープ24mg 久光製薬	1枚中 ロビニロール塩酸塩 24 mg	¥ 610.9	パーキンソン病	通常、成人にはロビニロール塩酸塩として1日1回8mgから始 め、以後経過を観察しながら、必要に応じて1週間以上の間隔 で、1日量として8mgずつ増量する。いずれの投与量の場合も1 日1回、胸部、腹部、側腹部、大腿部又は上腕部のいずれかの 皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。なお、年齢、症状により 適宜増減するが、ロビニロール塩酸塩として1日量64mgを超え ないこととする。	パーキンソン病に対して、症状改善効果 が認められており、使用予定があるため、 採用を希望する。
ツムラ温清飲エキス顆粒 (医療用) 株式会社ツムラ	本品7.5g中 日局ジオウ 3.0g 日局シャクヤク 3.0g 日局センキュウ 3.0g 日局トウキ 3.0g 日局オウゴン 1.5g 日局オウバク 1.5g 日局オウレン 1.5g 日局サンシシ 1.5g	¥ 15.2	皮膚の色つやが悪く、のぼせるものに用 いる: 月経不順、月経困難、血の道症、更年期 障害、神経症	通常、成人1日7.5gを2〜3回に分割し、食前又は食間に経口 投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。	代替薬が無いため、採用を希望する。
ベージニオ錠50mg 日本イーライリリー	1錠中 アペマシクリブとして 50 mg	¥ 3,049.7	○ホルモン受容体陽性かつHER2陰性 の手術不能又は再発乳癌 ○ホルモン受容体陽性かつHER2陰性 で再発高リスクの乳癌における術後薬物 療法	内分泌療法剤との併用において、通常、成人にはアペマシクリ ブとして1回150mgを1日2回経口投与する。ただし、術後薬物 療法の場合には、投与期間は24か月間までとする。なお、患者 の状態により適宜減量する。	乳癌ガイドラインで閉経後患者で転移再 発があり、ホルモン受容体陽性、HER陰 性の場合、1次内分泌療法にアロマター ゼ阻害薬単剤が使用された場合の2次 内分泌療法として、CDK4/6阻害剤+フ ルベストラント費用療法が推奨されてい るため、採用を希望する。
ベージニオ錠100mg 日本イーライリリー	1錠中 アペマシクリブとして 10 0mg	¥ 5,567.7			
ベージニオ錠150mg 日本イーライリリー	1錠中 アペマシクリブとして 15 0mg	¥ 7,917.5			
レボセチリジン塩酸塩D SO.5%「タカタ」 高田製薬株式会社	1g中 レボセチリジン塩酸塩 5.00mg	¥ 51.0	[成人] ○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒症、皮膚そう 痒症 [小児] ○アレルギー性鼻炎 ○蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚 そう痒症)に伴うそう痒	[成人] 通常、成人には1回1g(レボセチリジン塩酸塩として5mg)を1日 1回、就寝前に用時溶解して経口投与する。なお、年齢、症状 により適宜増減するが、最高投与量は1日2g(レボセチリジン塩 酸塩として10mg)とする。 [小児] 通常、6か月以上1歳未満の小児には1回0.25g(レボセチリジ ン塩酸塩として1.25mg)を1日1回、用時溶解して経口投与す る。 通常、1歳以上7歳未満の小児には1回0.25g(レボセチリジン 塩酸塩として1.25mg)を1日2回、朝食後及び就寝前に用時 溶解して経口投与する。 通常、7歳以上15歳未満の小児には1回0.5g(レボセチリジン 塩酸塩として2.5mg)を1日2回、朝食後及び就寝前に用時溶 解して経口投与する。	現在抗アレルギー剤は多数採用されて いるが、2歳未満で使用できる第二世代 の薬剤の選択肢が少ない。 シロップ製剤は院内・院外共に採用され ているが、DS製剤が内服可能な乳幼児 が存在するため、採用を希望する。
ブイタマークリーム1% 鳥居薬品株式会社	1g中 タピナロフ 10mg	¥ 300.8	○アトピー性皮膚炎 ○尋常性乾癬	<アトピー性皮膚炎> 通常、成人及び12歳以上の小児には、1日1回、適量を患部に 塗布する。 <尋常性乾癬> 通常、成人には、1日1回、適量を患部に塗布する。	新機序の薬剤で効果が期待できるため、 採用を希望する。
マンジャロ皮下注12.5 mgアテオス 日本イーライリリー株式 会社	1キット中 チルゼパチド12.5mg	¥ 9,620.0	2型糖尿病	通常、成人には、チルゼパチドとして週1回5mgを維持用量と し、皮下注射する。ただし、週1回2.5mgから開始し、4週間投 与した後、週1回5mgに増量する。 なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週1回5mgで効果 不十分な場合は、4週間以上の間隔で2.5mgずつ増量でき る。ただし、最大用量は週1回15mgまでとする。	効果不十分症例に対して、増量を検討 するため、採用を希望する。
マンジャロ皮下注15mg アテオス 日本イーライリリー株式 会社	1キット中 チルゼパチド15mg	¥ 11,544.0			
ゼップバウンド皮下注2. 5mgアテオス 日本イーライリリー株式 会社	1キット中 チルゼパチド2.5mg	¥ 3,067.0	肥満症:ただし、高血圧、脂質異常又は2 型糖尿病のいずれかを有し、食事療法・ 運動療法を行っても十分な効果が得られ ず、次に該当する場合に限る(BMIが 27kg/m2以上であり、2つ以上の肥満に関 連する健康障害を有する、BMIが 35kg/m2以上)	通常、成人には、チルゼパチドとして週2.5mgから開始し、4週間 の間隔で2.5mgずつ増量し、週1回10mgを皮下注射する。 なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週1回5mgまで減 量、又は4週以上の間隔で2.5mgずつ週1回15mgまで増量でき る。	肥満症に合併した他の疾患を有する患 者に投与できるため、採用を希望する。
ゼップバウンド皮下注5 mgアテオス 日本イーライリリー株式 会社	1キット中 チルゼパチド5mg	¥ 5,797.0			
ゼップバウンド皮下注7. 5mgアテオス 日本イーライリリー株式 会社	1キット中 チルゼパチド7.5mg	¥ 7,721.0			

ゼップバウンド皮下注10mgアテオス 日本イーライリリー株式会社	1キット中 チルゼパチド10mg	¥ 7,696.0			
クービピック錠25mg 塩野義製薬株式会社	1錠中 ダリドレキサント塩酸塩 27.02mg (ダリドレキサントとして 25mg)	¥ 57.3	不眠症	通常、成人にはダリドレキサントとして1日1回50mgを就寝直前に経口投与する。なお、患者の状態に応じて1日1回25mgを投与することができる。	3種類目のオレキシン受容体拮抗薬であり、不眠症患者にしようするため、採用を希望する。
クービピック錠50mg 塩野義製薬株式会社	1錠中 ダリドレキサント塩酸塩 54.04mg (ダリドレキサントとして 50mg)	¥ 90.8			